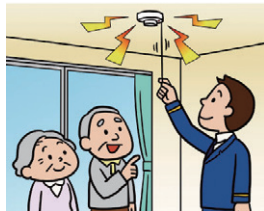


受けてみよう！ 住まいの防火防災診断

東京消防庁では、高齢者や障害者の方など、災害時に支援が必要な方のお宅を消防職員が訪問し、火災、地震、家庭内事故等の危険性についてアドバイスなどを無料で行っています。診断の所要時間は約30分です。



知ろう！ 防災 行こう！ 訓練

東京消防庁では、「どこでも・いつでも・だれでも」気軽に参加できる防災訓練を推進しています。

いつ起こるか分からない災害に備えて、防災訓練や消防署のイベントなどに参加し、みんなで防災力を高めましょう。防災訓練等のイベント情報を消防アプリで確認することができます。無料ですので、ぜひご利用ください。



東京消防庁公式アプリ

無料

ダウンロードはこちら→

東京消防庁公式アプリ

検索



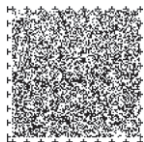
ご相談・お問合せは、お気軽に最寄りの消防署へ

東京消防庁 ホームページ

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

東京消防庁

検索



本リーフレットは、目の不自由な方へ情報提供できるように視覚障害者用音声コードと位置認識のための切込みを入れています。専用読み取り機によりコードの読み取りをすると、音声に変換され、文書内容が読み上げられます。
※ 専用読み取り機の給付等については、区市町村の障害福祉担当課へお問合せください。

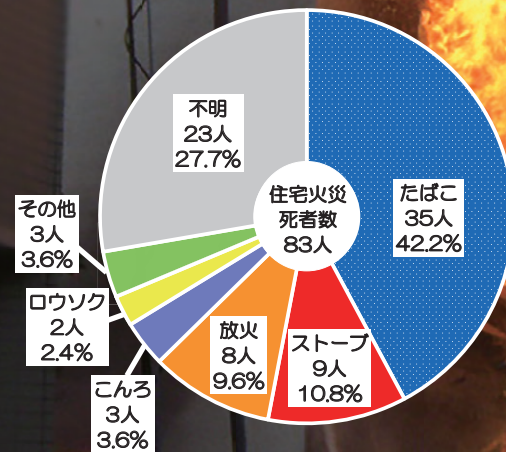


リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

STOP! 住宅火災

火災による死者の約9割が住宅火災で発生!

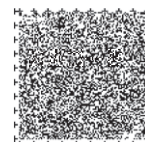
(令和元年 東京消防庁管内 住宅火災による死者83人)



出火原因別死者数
(R1住宅火災)

近年の死者が発生した住宅火災の3大出火原因は、**たばこ**、**ストーブ**、**こんろ**となっています。また、**65歳以上の高齢者**が、住宅火災による死者の**約7割**を占めています。

東京消防庁



住宅火災から命を守るためにできること

主な出火原因を防ぐポイントを知ろう！

たばこ

毎年、死者発生原因第1位！

- ☑ 寝たばこは絶対にしない
- ☑ 飲酒→喫煙→うたた寝に注意
- ☑ 吸殻を灰皿にためない
- ☑ 吸殻は水で完全に消してから捨てる
- ☑ 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する



ストーブ

ストーブの中で最も多い原因は、電気ストーブ！

- ☑ 周囲に燃えやすいものを置かない
- ☑ 外出時、就寝時は必ず消す
- ☑ 給油は必ず消してから行う
- ☑ ストーブの近くで洗濯物を乾かさない



こんろ

住宅火災発生原因第1位 着衣への着火に注意！！

- ☑ 調理中に離れない
- ☑ 周囲に燃えやすいものを置かない
- ☑ 防災品のエプロンやアームカバーを使用する
- ☑ 火が鍋底からはみ出さないように調節する
- ☑ 安全機能（Siセンサー）付きこんろを使用する



コード

身近に潜む、火災の危険！！

- ☑ 使っていないプラグは抜いておく
- ☑ プラグ、コンセントは定期的に掃除する
- ☑ 家具などの下敷き、折れ曲がりに注意する
- ☑ タップは決められた容量内で使用する
- ☑ 束ねて使用しない



備えて安心！ 住宅用防災機器！

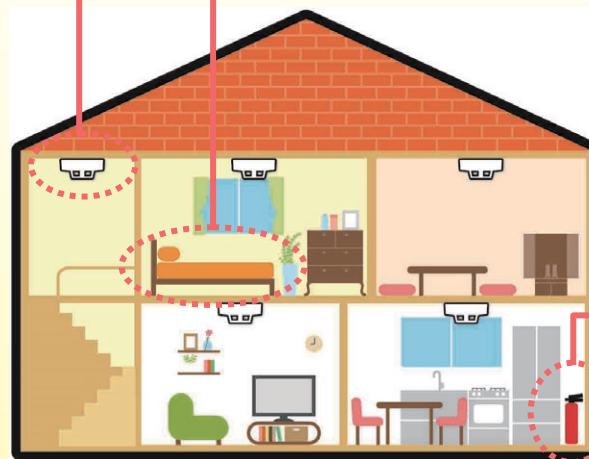
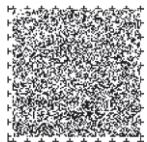
住宅用火災警報器 ～適切な維持管理を～

住宅用火災警報器は火災を早期に発見し、大切な命を守るためにとても有効です。

- 設置場所は、全ての居室・台所・階段です
- 定期的に作動状態の確認・本体の掃除をしましょう

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどにより火災を感知しなくなることがあります。

設置後10年を目安に本体の交換をしましょう。



防災品 ～性能マークが目印

防災品を使うことで、火災の被害を抑え、延焼を遅らせることができます。
ホームセンター等で購入ができます。

家庭で使用する主な防災品

- アームカバー
 - エプロン
 - カーテン
 - 寝具類
- アームカバー（例）

消火器～いざという時に、使えるようにしよう！～

消火器による初期消火は、火災の被害軽減や抑制に非常に効果的です。火を使う場所には、消火器を備えましょう。一般住宅向けの小型で軽量の住宅用消火器や、片手でも使用できるエアゾール式消火具もあります。

使用期限、劣化に注意！悪質販売、点検に注意！